

令和 2 年度事業報告

I 概要

1. 法人の概要

- (1) 設立年月日 平成 9 年 6 月 18 日
寄付行為の変更許可 平成 11 年 6 月 3 日
公益財団法人移行 平成 24 年 4 月 1 日

(2) 定款に定める目的

本財団は、国内におけるバイオテクノロジー関連の研究活動に対し助成するとともに、バイオテクノロジー技術の交流及び普及を図り、国内産業の育成及び発展に貢献することを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容

- ① バイオテクノロジー関連の研究活動に取り組む国内の団体又は個人に対する助成
- ② バイオテクノロジーに関連する研究会及び講演会の開催並びに研究諸団体への講師の斡旋
- ③ バイオテクノロジー技術の普及及び啓発
- ④ 前号までに掲げるもののほか、前項の目的を達成するため必要と認める事業

(4) 所管官庁

内閣府 大臣官房公益法人行政担当室

(5) 主たる事務所

長野県長野市大字南堀 1 3 8 - 1

(6) 役員に関する事項

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
理事長	水野 雅義	非常勤	ホクト(株)社長
副理事長	藤澤 義章	〃	藤澤義章税理士事務所税理士
理事	高藤 富夫	〃	ホクト(株)専務
理事	高波 謙二	〃	長野朝日放送(株)取締役
理事	石田 治	〃	社会福祉法人治敬会常務理事
理事	宮下 正典	〃	弁護士
監事	上野 紘志	〃	公認会計士
監事	水城 由貴	〃	公認会計士・税理士

II 組織運営

1. 理事会

令和2年度第1回理事会(令和2年5月11日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 平成31年度事業報告及び決算承認の件
- ② 令和2年度第1回評議員会ならびに第2回理事会の招集の件
- ③ 任期満了に伴う評議員の候補者選出の件

令和2年度第2回理事会(令和2年5月29日 ホテル国際 21)

- ① 令和2年度きのご観察会開催の件
- ② 令和2年度選考委員会の開催の件
- ③ 令和2年度第3回理事会の招集の件
- ④ 令和2年度奨励金給付事業の進捗状況の報告

令和2年度第3回理事会(令和2年10月23日 ホテル国際 21)

- ① 令和2年度奨励金給付事業研究奨励金贈呈式の中止の件
- ② 令和2年度 収支補正予算書(案)の承認の件
- ③ 令和2年度奨励金給付事業研究奨励金給付者及び給付金額選考の件
- ④ 令和2年度4月期～9月期職務執行状況の報告

令和2年度第4回理事会(令和3年3月9日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 令和2年度10月期～令和3年2月期職務執行状況の報告
- ② 令和3年度事業計画承認の件
- ③ 令和3年度収支予算承認の件

2. 評議員会

令和2年度第1回評議員会(令和2年5月29日 ホテル国際 21)

- ① 平成31年度事業報告及び決算承認の件
- ② 任期満了に伴う評議員選任の件

3. 監査会

監査会(令和2年5月7日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 平成31年度全期監査

Ⅲ 実施事業（令和2年4月1日～令和3年3月31日まで）

1. 令和2年度研究奨励金給付事業

・実施内容

令和2年5月よりバイオテクノロジーを主体とする生物科学に関する調査研究、技術開発に対する助成先を一般公募。募集期間4ヶ月で100件の応募があり、各選考委員による書類審査後、令和2年10月23日に選考委員会を開き、21件21名に対し助成金総額1,450万円を給付することを内定。同日開催の理事会において最終決定いたしました。

全国各地、北海道から九州までの広範囲にわたる90機関の大学・研究施設から100名の応募となり、内容も大変厳しい選考となりました。研究奨励金給付事業も24回を数えるに至り、受賞者総数も累計362名、総額24,435万円となりました。

研究奨励金助成者一覧については別紙参照

2. 受賞記念講演会

・実施内容

例年、長野市内のホテル国際21に於いて研究奨励金給付事業研究奨励金贈呈式を挙げておりましたが、コロナ禍により受賞者の他県移動に不安があることや式の運営が難しいため中止となりました。しかし、信州大学の受賞者につきましては、医学部・農学部へ出向き、贈呈式を挙げて、受賞者へ目録を手渡しました。

3. きのこの観察会及び鑑定会

・実施内容

1. 日時 令和2年10月15日（木）～16日（金）
2. 開催地 長野県上伊那郡箕輪町 萱野高原
3. 参加人数 37名（一般参加者30名、講師1名、財団関係者6名）
（農業・工業学誌及び新聞で参加者を募集）

令和2年10月15日、16日、萱野高原においてきのこ観察会を実施いたしました。さわやかな空気のもと参加者は森や遊歩道など思い思いの場所できのこを観察いたしました。1日目のながた荘での勉強会では、千葉県立中央博物館・農学博士 吹春俊光先生を講師に迎え、勉強会を開催しました。スライドやレジュメを使い、きのこの生態上の分類方法についての分かり易い説明から、きのこの生態の不思議さ・環境との共生関係など詳しくお話しいただき、参加者との活発な意見交換もなされました。2日目は、吹春先生を中心に鑑定会を行い、イグチ、テングタケ、ベニタケを中心に約70菌種が判別されました。参加者は写真に収めたり、積極的に質問を行っていました。なお、鑑定を行ったきのこは国立

科学博物館に鑑定データと共に乾燥標本として寄贈する取り組みも行っております。
今回のきのご観察会で22回になりますが、同じ季節でも、地域、気候、植生の異なる場所
で、様々なきのこが鑑定され毎年充実した会となっております。今後も継続して交流の輪
が広がっていくことを期待したいと思います。

観察会目録に関しては、別紙参照

令和2年12月8日

ホク ト 生 物 科 学 振 興 財 団
H o k u t o F o u n d a t i o n f o r B i o s c i e n c e
令 和 2 年 度 研 究 奨 励 金 助 成 者 一 覧

1. きのこを含む食習慣による骨折リスク低減に向けた戦略
東北大学大学院 医学系研究科 分子代謝生理学分野 日本学術振興会
特別研究員 PD 荒井 誠 (100 万円)
2. 質量分析装置を用いた脂質分析による IgG4 関連疾患の病態解明
信州大学 医学部 病態解析診断学
准教授 上原 剛 (100 万円)
3. 好中球細胞外トラップ (NETs) を形成する好中球の定量化の試みと臨床的有用性の検討
金沢大学 医薬保健研究域保健学系病態検査学講座
助教 長屋 聡美 (100 万円)
4. ナイアシンアミド代謝系に依存した脂肪細胞の新規分化制御機構の解明
信州大学 農学部 農学生命科学科 生命機能科学コース食品機能学研究室
助教 三谷 壘一 (100 万円)
5. 信州バイオバンクの構築
信州大学 医学部 産科婦人科学教室
准教授 宮本 強 (100 万円)
6. 日本産食用トリュフの資源探索研究
信州大学 先鋭領域融合研究群 山岳科学研究拠点山岳生態系研究部門
部門長 山田 明義 (100 万円)
7. 遺伝子改変光化学系 I と大面積金ナノ粒子シートから構成される効率的光電変換システム
東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻 無機・分析化学講座
准教授 山野井 慶徳 (100 万円)
8. キノコ成分による免疫調節機構の解明
京都府立医科大学 分子生化学
吉田 達士 (100 万円)

9. バイオ医薬品の経皮吸収を可能にする皮膚バリア透過薬の開発

岐阜薬科大学 生命薬学大講座 生化学研究室

教授 五十里 彰 (50 万円)

10. がん終末期患者における血中アミノ酸欠乏を標的とする新規治療法の開発

京都大学 大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座

大学院生 采野 優 (50 万円)

11. きのこと類における L- α -グリセロホスホコリン生合成機構の解明と高含有化への応用

(公財) 庄内地域産業振興センター

研究員 大沼 広宜 (50 万円)

12. 植物のカルシウム欠乏症発症機構の分子メカニズム解明と欠乏症耐性作物の育種基盤の構築

東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 植物栄養・肥料学研究室

准教授 神谷 岳洋 (50 万円)

13. 未踏生物種を利用した構造多様天然化合物ライブラリーの構築

東北大学大学院 薬学研究科 医薬資源化学分野

准教授 菊地 晴久 (50 万円)

14. キノコ摂取が免疫チェックポイント阻害薬の治療効果へ与える影響に関する研究

京都大学大学院 医学研究科 腫瘍薬物治療学講座

博士課程 3 年 齋藤 伴樹 (50 万円)

15. 根寄生雑草自殺発芽誘導剤の発酵生産に向けた基盤研究

明治大学 農学部

専任講師 瀬戸 義哉 (50 万円)

16. 循環器疾患患者における VEGF 遺伝子プロモーター領域 (-2549) 多型頻度

および培養細胞を用いた機能解析

信州大学 学術研究院 保健学系 病因・病態検査学領域

平 千明 (50 万円)

17. ヤマブシタケによる LPS 中和作用を基軸とした血液脳関門ホメオスターシス制御

東北大学大学院 歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔分子制御学分野

講師 多田 浩之 (50 万円)

18. 馬の涙液を用いた生化学物質の測定

筑波大学 体育系

非常勤研究員 瀧上 真帆 (50万円)

19. 肝線維化の進行度を判別する簡易的かつ非侵襲的な呼気診断法の開発

静岡県立大学 薬学部 薬理学分野

助教 山口 桃生 (50万円)

20. ディープラーニングが明らかにするきのこの生活習慣病予防効果

英国キングスカレッジロンドン・University Institute for Population Health

客員教授 兼 東京大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科

登録研究員 山田 朋英 (50万円)

21. ホウ素中性子捕捉療法を用いた関節リウマチに対する革新的治療法の開発

京都大学複合原子力科学研究所 粒子線腫瘍学研究センター

助教 渡邊 翼 (50万円)

ホクト生物科学振興財団 きのこ観察会（長野県上伊那郡箕輪町）目録
 観察日時：2020.10.16
 観察場所：信州かやの山荘
 鑑定者：吹春 俊光先生

担子菌門ハラタケ綱ハラタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Agaricales)

Amanitaceae		テングタケ科		
<i>Amanita</i>	<i>citrina</i>	(Schaeffer) Persoon		コタマゴテングタケ
<i>Amanita</i>	<i>imazekii</i>	T. Oda, C. Tanaka & Tsuda		ミヤマタマゴタケ
<i>Amanita</i>	<i>muscaria</i>	(L. : Fr.) Lam.		ベニテングタケ
<i>Amanita</i>	<i>pseudoporphyria</i>	Hongo		コテングタケモドキ
<i>Amanita</i>	<i>shaerobulbosa</i>	Hongo		タマシロオニタケ
<i>Amanita</i>	<i>volvata</i>	(Peck) Lloyd		フクロツルタケ
Bolbitiaceae		<i>Panaeolus</i>	sp.	オキナタケ科
				ワライタケ属
Cortinariaceae		フウセンタケ科		
<i>Cortinarius</i>	<i>armillatus</i>	(Fries) Fries		ツバフウセンタケ
<i>Cortinarius</i>	<i>caperatus</i>	(Pers. : Fr.) Fr.		シヨウゲンジ
<i>Cortinarius</i>	<i>tenuipes</i>	(Hongo) Hongo		クリフウセンタケ
<i>Descolea</i>	<i>flavoannulata</i>	(Lj. N. Vassiljeva) E. Horak		キシヨウゲンジ
Entolomataceae		イトボンシメジ科		
<i>Entoloma</i>	<i>sarcopum</i>	Nagas. & Hongo		ウラベニホテイシメジ
<i>Entoloma</i>	sp.	-		イトボンシメジ属
Favolaschiaceae		ラッシンタケ科		
<i>Mycena</i>	<i>haematopus</i>	(Persoon) P. Kummer		チシオタケ
Hydnangiaceae		ヒドナンギウム科		
<i>Laccaria</i>	<i>amethystina</i>	Cooke		ウラムラサキ
<i>Laccaria</i>	<i>bicolor</i>	(Marie) P. D. Orton		オオキツネタケ
Hygrophoraceae		ヌメリガサ科		
<i>Ampulloclitocybe</i>	<i>clavipes</i>	(Pers. : Fr.) Redhead, Lutzoni, Moncalvo & Vilgaly		ホテイシメジ
<i>Hygrocybe</i>	<i>conica</i>	(Schaeff. : Fr.) P. Kumm.		アカヤマタケ
<i>Hygrocybe</i>	sp.			アカヤマタケ属
<i>Hygrophorus</i>	sp.			ヌメリガサ属
Hymenogasteraceae		ヒメノガステル科		
<i>Hebeloma</i>	<i>radicosum</i>	(Fr.) P. Kumm.		ナガエノシギタケ
Inocybaceae		アセタケ科		
<i>Inocybe</i>	<i>umbratica</i>	Quél.		シロニセトヤマタケ
<i>Inocybe</i>	sp.			アセタケ属
Physalaciaceae		タマバリタケ科		
<i>Armillaria</i>	<i>mellea</i>	(Vahl. : Fr.) P. Kummer. S. I.		ナラタケ(広義)
Pluteaceae		ウラベニガサ科		
<i>Pluteus</i>	<i>cervinus</i>	(Schaeffer) P. Kumm.		ウラベニガサ
Psathyrellaceae		ナヨタケ科		
<i>Coprinellus</i>	<i>micaceus</i>	(Bull. : Fr.) Vilgalys, Hopple & Johnson		キララタケ
Pterulaceae		フサタケ科		
<i>Phyllotopsis</i>	<i>nidulans</i>	(Pers. : Fr.) Singer		キヒラタケ
Strophariaceae		モエギタケ科		
<i>Hypholoma</i>	<i>lateritium</i>	(Schaeff. : Fr.) P. Kumm.		クリタケ
<i>Pholiota</i>	<i>cerifera</i>	(P. karst.) P. karst.		ヌメリシギタケモドキ
<i>Pholiota</i>	<i>lenta</i>	(Pers. : Fr.) Singer		シロナメツムタケ
<i>Pholiota</i>	<i>lubrica</i>	(Pers. : Fr.) Singer		チャナメツムタケ
<i>Pholiota</i>	sp.			スギタケ属
<i>Stropharia</i>	<i>aeruginosa</i>	(Curtis : Fr.) Quél.		モエギタケ
Tricholomataceae		キシメジ科		
<i>Calocybe</i>	<i>ionides</i>	(Bull. : Fr.) Donk.		ヒメムラサキシメジ
<i>Leucopholiota</i>	<i>decorosa</i>	(Peck) O. K. Miller, T.J. Volk & Bessette		ツノシメジ
<i>Tricholomopsis</i>	<i>decora</i>	(Fr. : Fr.) Sing.		キシマツモドキ
<i>Tricholoma</i>	<i>flavovirens</i>	(Pers. : Fr.) S. Lundell		キシメジ
<i>Tricholoma</i>	<i>portentosum</i>	(Fr. : Fr.) Quél.		シモフリシメジ
<i>Tricholoma</i>	<i>saponaceum</i>	(Fr.) P. Kumm.		ミネシメジ
<i>Clitocybe</i>	sp.			カヤタケ属
Typhulaceae		ガマノホタケ科		
<i>Panellus</i>	<i>serotinus</i>	(Persoon) P. Karsten		ムキタケ

担子菌門ハラタケ綱イクナ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Boletales)

Gomphidiaceae		オウギタケ科		
<i>Gomphidius</i>	<i>roseus</i>	(Fr. : Fr.) P. Karst.		オウギタケ
Suillaceae		ヌメリイグチ科		
<i>Suillus</i>	<i>bovinus</i>	(L. : Fr.) Roussel		アマタケ
<i>Suillus</i>	<i>granulatus</i>	(L. : Fr.) Roussel		チチアワタケ
<i>Suillus</i>	<i>grevillei</i>	(Klotz. : Fr.) Singer		ハナイグチ
<i>Suillus</i>	<i>luteus</i>	(L. : Fr.) Roussel		ヌメリイグチ
<i>Suillus</i>	<i>viscidus</i>	(L.) Roussel		シロヌメリイグチ
Tapinellaceae		イチヨウタケ科		
<i>Pseudomerulius</i>	<i>curtisii</i>	(Berk.) Redhead & Ginns		サケバタケ

担子菌門ハラタケ綱ヒダナシタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Cantharellales)

Cantharellaceae		アンズタケ科		
<i>Cantharellus</i>	<i>luteocomus</i>	H.E. Bigelow		トキイロラッパタケ
Hydnaceae		カノシタ科		
<i>Hydnum</i>	<i>repandum</i>	L. : Fr.		カノシタ

担子菌門ハラタケ綱タマチヨレイタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Polyporales)

Bondarzewiaceae		ミヤマトンビマイタケ科		
<i>Heterobasidion</i>	<i>orientale</i>	Tokuda, T. Hatt. & Y. C. Dai		レンガタケ
Fomitopsidaceae		ツガサルノコシカケ科		
<i>Daedalea</i>	<i>dickinsii</i>	Yasuda		ホウロクタケ
<i>Fomitopsis</i>	<i>pinicola</i>	(Sw.) P. Karst.		ツガサルノコシカケ
<i>Piptoporus</i>	<i>soloniensis</i>	(Dubois) Pilát		シロカイメンタケ
Polyporaceae		タマチヨレイタケ科		
<i>Polyporus</i>	<i>brumalis</i>	(Pers.) Fr.		オツネンタケモドキ
<i>Trametes</i>	<i>versicolor</i>	(L.) Lloyd		カワラタケ
<i>Lenzites</i>	<i>betulinus</i>	(L.) Fr.		カイガラタケ

担子菌門ハラタケ綱ベニタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Russulales)

Russulaceae		ベニタケ科		
<i>Lactarius</i>	<i>lividatus</i>	Berk. & M. A. Curtis		ハツタケ
<i>Lactarius</i>	<i>torminosus</i>	Pers.		カラハツタケ
<i>Russula</i>	<i>compacta</i>	Frost		アカカバイロタケ
<i>Russula</i>	<i>delica</i>	Fr.		シロハツ
<i>Russula</i>	<i>densifolia</i>	Secr. ex Gillet		クロハツモドキ
<i>Russula</i>	sp.			ベニタケ属

担子菌門ハラタケ綱イホタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Thelephorales)

Bankeraceae		マツバハリタケ科		
<i>Sarcodon</i>	<i>scabrosus</i>	(Fr.) P. Karst.		ケロウジ

担子菌門アカキクワケ綱アカキクワケ目 (Basidiomycota Dacrymycetes Dacrymycetales)

Dacrymycetaceae		アカキクワケ科		
<i>Calocera</i>	<i>viscosa</i>	(Pers.) Fr.		ニカワホウキタケ

所屬科未確定

<i>Trichaptum</i>	<i>biforme</i>	(Fr.) Ryvarden		ハカワラタケ
<i>Gymnopilus</i>	sp.			チャツムタケ属
<i>Geastrum</i>	sp.			ヒメツチグリ属
<i>Lycoperdon</i>	sp.			ホコリタケ属

事業報告の附属明細書

特段、記載する事項はありません。